

(施策評価表47)

【施策番号Ⅲ-9-②-3】

取組みの 方向性	安心を実現する	戦 略	【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本 ～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、 安全安心な社会を実現します～	主な施策	◆健康危機からくらしを守る ～健康危機管理対策の強化～
			②安全安心な社会の構築		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性	
<p>・日頃から、新型インフルエンザの発生に向けた体制整備や食中毒などの未然防止に努めるとともに、原因不明や複雑な健康危機が発生した場合には、医師等で構成する専門チーム(FEIT)を現地に派遣するなど、健康危機の拡大・再発防止に向け、迅速に取り組みます。</p>	健康危機管理推進事業	健康危機管理課	1,161 665	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機の未然防止について、感染症に関する情報を的確に収集・解析し、熊本県感染症情報(週報、月報)として県HP等で県民や医療機関等へ情報提供を実施した。また、集団発生や重症例が発生した場合は、注意報を発令するなど、予防対策を目的とした注意喚起を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所及び本庁における健康危機発生に備えた研修や訓練を計画的に実施する。 感染症に関する積極的な情報提供により、県民に対する予防策の周知や注意喚起を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係職員の資質向上や医療機関等との連携体制の強化を図るため、計画的かつ効果的な研修会や訓練等の平常時の備えを充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各保健所内における食中毒や感染症等の健康危機管理に関する研修会や健康危機発生を想定した訓練を充実させる。 	
	感染症予防事業費	健康危機管理課	7,024 5,850	<ul style="list-style-type: none"> 県内で生産、製造等された食品等に対し「H24年度食品衛生監視指導計画」に基づき監視指導や、残留農薬や食品添加物等の検査を実施した。また、食品事業者や消費者を対象とした食品衛生講習会の開催等の啓発活動を実施した(施設への監視指導件数:28,694件、食品衛生講習会への参加者数:17,376名)。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザの発生に備えた体制の整備、充実を図るとともに、H25年6月の政府行動計画の見直しを踏まえた県行動計画の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザの発生や国外から新たな感染症が国内に侵入すること懸念されているため、対応を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や新型インフルエンザの発生に備えた国、市町村及び関係機関との連携による体制整備を行う。また、新型インフルエンザの発生に備え、初発患者発生時の初動対応、患者搬送等の訓練を実施し体制の強化を行う。 	
	新型インフルエンザ対策費	健康危機管理課	183,512 52,967	<ul style="list-style-type: none"> 熊本広域大洪水時に各避難所に対し、現地調査及びチラシ配布等により、感染症・食中毒発生の未然防止を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生監視員による監視指導など、食品に対する消費者の不安解消と食品による健康被害の未然防止対策を実施する。 狂犬病の発生を予防するとともに、野犬や未けい留犬による人への危害を防止する。 BSE全頭検査の見直しの決定を含め食肉の安全確保について、県民への周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者に対し食品衛生や食品表示に関する適切な情報提供や、消費者との意見交換会を開催する等、健康被害の未然防止につなげていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者参加によるリスクコミュニケーションや出前講座等を実施し、食品表示や食品衛生に関する情報提供や知識の普及啓発を行う。 	
	食品営業監視事業及び食品検査指導事業等	健康危機管理課	24,870 19,716	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から各保健所において健康危機に関する研修・訓練を実施(全県で56回開催)。その他、FEITメンバー及び各保健所の健康危機管理担当者の資質向上を目的に、国立感染症研究所職員を講師とする研修会や、保健所で対処した健康危機管理事例の報告・検討会を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 県内の狂犬病予防注射率が低迷するなど狂犬病対策は十分とは言えないことから、市町村や獣医師会と連携して、住民への啓発をはじめとする予防対策の強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当者会議を開催し、狂犬病予防接種の向上に向けた技術的助言を行う。 	
	犬取締事業・動物愛護管理事業	健康危機管理課	106,168 120,001	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県新型インフルエンザ等対策本部条例を12月に制定。 新型インフルエンザに対する理解を深めるため、医療従事者を対象とした研修会を実施。 医療機関に対する医療資器材の整備(23の医療機関に対して24台分の人工呼吸器整備の補助) BSE全頭検査見直しの検討を進めた。 				
					<ul style="list-style-type: none"> 熊本広域大洪水発生時に、感染症や食中毒の未然防止に向け迅速に対応。 FEIT(実地疫学調査チーム)メンバーと保健所担当職員による健康危機管理事例報告検討会の開催など、研修・訓練等の充実強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所及び本庁における健康危機発生に備えた研修や訓練の計画的な実施。 新型インフルエンザ等対策の充実。 BSE全頭検査の見直しの決定を含め食肉の安全確保について、県民への周知。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機に対する職員の資質向上や連携体制の強化に向けた効果的な研修会等、平常時の備えの充実。 住民への情報提供や啓発などによる健康被害の未然防止に繋げる取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理に関する研修会や健康危機発生を想定した訓練の充実。 国、市町村及び関係機関との連携による新型インフルエンザ等対策の推進。 消費者参加による食品表示や食品衛生に関する情報提供や知識の普及啓発の実施。